

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 30 日

静岡市長 殿

提出者

住所 静岡市葵区清閑町14-27

氏名 第一建設 株式会社

代表取締役社長 市川 照

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 054-255-2022

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	第一建設 株式会社
事業場の所在地	静岡市葵区清閑町14-27
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 6 年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	(日本標準産業分類の区分を記入すること) 総合建設業
② 事業の規模	(業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること) 16.8億円（前期実績）
③ 従業員数	29 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

環境局

受 5.5.25

(日本工業規格 A 廃棄物対策課)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請工事完成高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書 別紙

氏名又は法人名 報告者所属部署	第一建設株式会社 総務部	担当者氏名 電話番号	森田 次郎 054-255-2022
--------------------	-----------------	---------------	-----------------------

(別紙)

産業廃棄物の種類	実績・計画	(第2面)	(第3面)	(第4面)	(第4～5面)			
		排出量			全処理委託量 (自動計算)	優良認定業者 (委託先の区分ごとの処理委託量)	再生利用業者	認定熱回収業者
1 コンクリート片	前年 実績	2,395.30t			2,395.30t	0.00t	1,683.60t	
	計画	361.00t			361.00t		350.00t	
2 アス・コン片	前年 実績	303.90t			303.90t	0.00t	183.50t	
	計画	250.00t			250.00t		200.00t	
3 その他がれき類	前年 実績	40.30t			40.30t	0.00t	32.60t	
	計画	30.00t			30.00t		25.00t	
4 ガラス陶磁器等くず	前年 実績	38.00t			38.00t	0.00t	20.00t	
	計画	30.00t			30.00t		20.00t	
5 廃プラスチック類	前年 実績	50.70t			50.70t	0.00t	50.70t	
	計画	30.00t			30.00t		30.00t	
6 金属くず	前年 実績	25.60t			25.60t	0.00t	25.60t	
	計画	15.00t			15.00t		15.00t	
7 建設混合廃棄物(安定型)	前年 実績	16.40t			16.40t	0.00t	6.80t	
	計画	10.00t			10.00t		8.00t	
8 建設汚泥	前年 実績	2.60t			2.60t	0.00t	2.60t	
	計画	2.00t			2.00t		2.00t	
9 紙くず	前年 実績	2.50t			2.50t	0.00t	2.50t	
	計画	2.00t			2.00t		2.00t	
10 木くず	前年 実績	66.60t			66.60t	0.00t	66.60t	
	計画	50.00t			50.00t	0.00t	50.00t	
11 繊維くず	前年 実績	13.20t			13.20t	0.00t	13.20t	
	計画	10.00t			10.00t		10.00t	
12 廃石膏ボード	前年 実績	181.10t			181.10t	0.00t	91.50t	
	計画	60.00t			60.00t		50.00t	
13 建設混合廃棄物 (管理型)	前年 実績	65.90t			65.90t	0.00t	20.90t	
	計画	50.00t			50.00t		40.00t	
14 石綿含有産業廃棄物	前年 実績	0.00t			0.00t	0.00t		
	計画	0.00t			0.00t			

別添 1 処理工程図

汚泥(建設汚泥) → 再生処理業者に委託
廃アルカリ → 中間処理業者に委託
廃プラスチック → 中間処理業者又は最終処分業者へ委託
紙くず、木くず → 中間処理業者へ委託
金属くず → 最終処分業者又は再生業者へ委託
ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず、がれき類 → 中間処理業者又は最終処分業者へ委託

別添 2 管理体制図

